

カラフルな未来へ 総合の力

山形県第6次教育振興計画（後期）

《基本目標》

人間力に満ちあふれ、
山形の未来をひらく人づくり

《テーマ》

つなぐ
～いのち、学び、地域～

《目指す人間像》

「いのち」をつなぐ人
学びを生かす人
地域をつくる人

めざす生徒像

「地域を愛し、自他の未来を切り拓く
生徒」

学校の教育目標

- 「個性の確立」
- 「自立と共生」
- 「社会への貢献」

校訓

- ・精進をもって自らを修める
- ・礼節をもって人に接する
- ・誠心をもって社会に貢献する

めざす学校像

- ① 基礎・基本を大切にし、学力向上に向けて教育活動の充実に努める学校
- ② 人のかかわりの中でことば・心・行動を大切に育てる学校
- ③ 多様な見方と総合力を重視し、SDGs教育に学校全体で取り組む生徒を育てる学校
- ④ 保護者・地域との連携を密にし、地域に貢献できる学校

キャッチ力（とらえる力）

- 課題・物事の本質をとらえる
- 必要な情報を選び出す
- 人の話を聞き、自分の行動を振り返る
- 自他の良さ・魅力に気付く

ハート力（感じる力）

- 学ぶこと・働くことの意味を理解する
- 人の期待や思いを感じ取る
- 仲間と協力する
- 感情をコントロールする

本校キャリア教育で身につけさせたい「4つの力」

アピール力（伝える力）

- 自分の考えをわかりやすく伝える
- プレゼンテーション力を身に付ける
- 相手の立場を尊重する

チャレンジ力（挑戦する力）

- 進路目標実現に向けて計画的に行動する
- 勉強や部活動で目標を立てて行動する
- 地域や社会に貢献する
- 困難なこと・不得意なことにも挑戦する

◇キャリア教育の視点から見た「産業社会と人間」、「総合的な探究の時間」、特別活動の重点

「総合的な探究の時間」（2・3年次）	特別活動（1～3年次）
<ul style="list-style-type: none"> ・探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を通してよりよく課題を発見し解決していくための資質・能力の育成 ・地域社会を含めた他者と協働して主体的・創造的に取り組む態度の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団のなかで望ましい人間関係を形成し、多様な意見を生かして合意形成をはかる力の育成 ・キャリア・パスポートなどを活用し、自己の在り方生き方を意思決定する力の育成
「産業社会と人間」（1年次）	
<ul style="list-style-type: none"> ・いのち耕す体験などのキャリア形成に資する体験的な活動の充実 ・地域社会・産業社会に積極的に貢献する意欲や態度の育成 	

◇キャリア教育の視点から見た各教科の重点

国語	地歴・公民	数学	理科	保健体育	芸術	外国語・英語	家庭	情報	農業	商業	福祉	観光
<ul style="list-style-type: none"> ・将来にわたって生きてはたらく言語能力の育成 ・情報を整理し、自分の考えを豊かに表現する力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・「基軸となる問い」を中心に据えた主体的学習活動を通じた、課題解決能力の育成 ・地域教材や地域との交流型授業を通じた、社会に貢献しようとする意欲の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら課題を見出し、構想を立て解決する力の育成 ・学習した内容を生活と関連づけ、具体的な事象の考察に活用する力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・探究的活動を通じた表現力、思考力の育成 ・持続可能な社会の構築を考慮した環境教育の充実 ・大学や研究機関等との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・公正、協力、責任、参画などの意欲の向上 ・ヘルスプロモーションの考え方を生かし意志決定や行動選択ができる力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土や日本の伝統文化、諸外国の文化に対する理解 ・主体的な学びを通じた個性や感性の伸長 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語を用いて適切に情報を得たり、考えを表現したりする力の向上 ・英語の背景にある文化への理解を契機にした、国際理解教育の推進と深化 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭と社会に向き合い、生涯を見通した生活設計に関わる学習の充実 ・自ら生活課題を見つけ、解決する能力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の活用、新たな情報の創造等、情報化社会を取り巻く環境への対応 ・課題を解決し実践する力、地域へ発信する力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・「いのち」の大切さや「食の安全」への理解など知識・技術の習得と倫理観の育成 ・地域社会の課題解決や活性化につながる学習の展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・勤労観、職業観、起業家精神の育成 ・地域活性化と経済のグローバル化に対応できる人材の育成 ・基礎的、汎用的能力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や福祉施設等との連携の充実 ・少子高齢化の進展や福祉ニーズの多様化などに対応する能力の育成 ・福祉観や倫理観の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と連携しながら地域の観光資源を発掘し発信する力の育成 ・県内外の人々と交流する能力の育成